

Philosophy of Architecture

教員名	鈴木博之（すずき ひろゆき）[非常勤]							
教員連絡先 （研究室所在地・TEL）	吹田キャンパス S 1 棟 8 階 811 室 電話：06-6879-7640							
E-MAIL アドレス								
履修対象	建築工学コース（3 年次）							
単位	2		セメスター			5		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築が持っている思想的な表現、社会的な意味を、歴史的概観を行いながら類型化し、 建築の本質を考える。設計、計画の基礎となる思考を養うことを目的とし、建築史の講 義とも関連するカリキュラム上の位置づけをもつ。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
			◎					○
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教 育目標
	実証主義史学の 背景（1 回）		因果律，実証主義の系譜，中世モデルと機械モデルに ついて理解する。（高度 1 回）					C、H
	非西欧の近代（2 回）		近代の起点，近代化と西欧化，初期近代の表現につい て理解する。（高度 2 回）					C、H
	近代の都市と土 地（2 回）		理想都市の系譜，ユートピアと田園都市，田園都市の 問題点について理解する。（高度 2 回）					C、H
	空間と場所（2 回）		Genius Loci（地霊（ゲニウス・ロキ）），西欧におけ る空間的表現，日本における場所的表現について理解す る。（高度 2 回）					C、H
	九間（このま） 論（2 回）		寝殿造りから書院造りへの流れ，庭園と座敷，堂・殿・ 所の変化について理解する。（高度 2 回）					C、H
	建築論の側面（2 回）		Firmitas の概念，ウィトルーウィウスと現代，強度と 耐久性について理解する。（高度 2 回）					C、H
	建築家の現在（2 回）		西欧的建築家の成立，近代後半における建築家の変 質。（高度 2 回）					C、H
	日本の建築家（1 回）		お雇い外国人・伝統的建築棟梁，日本人建築家・数寄 者，日本人建築家第 2 世代・前衛運動について理解する。 （高度 1 回）					C、H
	学期末試験（1 回）							
教科書	特定の教科書は用いない							
参考図書・文献等	鈴木博之「東京の地霊」、文春新書，鈴木博之「日本の地霊」、講談社現代新書							
成績評価方法・評価基準	学期末試験(100%)で評価する（ただし、レポートの提出を試験に代えることがある）。							
オフィスアワー								
コメント								